

～留学生スキーインストラクター 『おもてなしスノーレンジャー』育成プロジェクト～

1. 趣旨

- 世界各国から来ている留学生は、将来、日本と各国との友好関係を深める上で、極めて重要な存在である。
- 北海道は世界でも有数のスノーリゾートであり、世界中からパウダースノーを求めて多くのスキーヤーやスノーボーダーが訪れている。また、スキーだけでなく「食」や「温泉」に代表される豊富な観光資源により、北海道が魅力ある旅行目的地となっている。
- 北海道には世界各国から約2,700名の留学生が来ており、冬には折角北海道に来たのだからと、ほとんどの留学生がスキーを体験している。
- 一方、北海道内のスキー場では、言葉の問題から、外国人スキー客にレッスンが出来るスキーインストラクターが不足しており、海外からのスキー客は増えているが、レッスンを受けたいというニーズに応えられない状況も発生している。
- この状況を受け、我々『おもてなしスノーレンジャー』育成チームは関係者と連携の上、北海道へ来てスキーの魅力に目覚めた留学生に対し、北海道スキー連盟が実施している「SAH認定スキー指導員」の資格取得を目的とした『留学生スキーインストラクター育成プロジェクト』を立ち上げ、資格取得後はインストラクターとしてスキー指導を担当してもらい、外国人スキー客に対するレッスン受け入れ体制を充実するとともに、北海道でのスキーの楽しさを情報発信してもらうことで、海外からのスキー観光需要の喚起に寄与することとしたい。

2. 事業主体及び協力団体等

『おもてなしスノーレンジャー』育成チーム

英語名『Omotenashi Snow Ranger』 Training Team

○構成団体

- ・公益財団法人 北海道スキー連盟教育本部
- ・NPO法人 北海道スキー海外普及振興協会
- ・公益財団法人 札幌スキー連盟教育本部
- ・北海道スキー学校協会
- ・国土交通省北海道運輸局企画観光部国際観光課
- ・学校法人 札幌大学
- ・国立大学法人 北海道大学観光学高等研究センター

○協力団体

- ・加森観光（株）
- ・（株）スポーツピア
- ・（公財）太陽財団
- ・北海道索道協会
- ・北海道スキープロモーション協議会
- ・（公社）北海道観光振興機構
- ・札幌市
- ・北海道

3. 留学生スキーインストラクター育成プログラム

(1) 対象者

- ・ 日常会話レベルの日本語が話せる、北海道在住で18歳以上の外国人留学生。

(2) 理論講習会（2回）

11月23日（日）10:00～17:00 会場 北海道運輸局 6階会議室
・ スキー指導者としての基本知識と初心者指導の基礎課程を学ぶ
1月12日（月）9:00～16:00 会場 かでの2.7 920会議室（9階）
・ 初級から中級者に向けての基礎運動と基本技術の理解と指導法を学ぶ。

※必修講習時間12時間（1日の講習時間は1単位2時間×3限で6時間）

- かでの2.7 住所：札幌市中央区北2条西7丁目

(3) 実技講習会（10回）

12月 20日（土）、27日（土）9:30～15:30 会場 サッポロテイネスキー場
・ 基本技術を理解し、基礎パラレルターンの習得を目指す。
1月 10日（土）、17日（土）、24日（土）、31日（土）9:30～15:30 会場 サッポロテイネスキー場
・ 中急斜面の状況に合わせたスピードコントロールとパラレルターン大回り、中回りの習得を目指す。
2月 7日（土）、14日（土）、21日（土）、28日（土）9:30～15:30 会場 サッポロテイネスキー場
・ 斜面の条件状況に対応したスピードコントロール、安全かつ積極的に滑り降りる技術の習得を目指す。

※必修講習時間40時間（1日の講習時間は1単位2時間×2限で4時間）

(4) 特別ナイター講習会 (7回)

1月 14日(水)、21日(水)、28日(水) 18:00~20:00 会場 サッポロテイネスキー場
2月 4日(水)、18日(水)、25日(水) 3月 4日(水) 18:00~20:00 会場 サッポロテイネスキー場
・実技講習で欠単位がある場合、ナイター講習で補う。

※1日の講習時間は1単位2時間×1限で2時間。

(5) 技術習得の評価検定会

- ・留学生の技能に合わせ、本育成プログラムの中でバッチテストを実施。(2級取得)
- ・「SAH認定スキー指導者」検定会は、2015年3月7日(土)~8日(日)
(会場 かもい岳)で実施予定。

(6) 参加経費

- ・留学生スキーインストラクター育成プログラム 参加費 20,000円
(内訳:スキー連盟等登録費、教材費、スキー傷害賠償保険料等)
- ・バッチテスト合格手数料:公認料+バッチ代 2,000円
- ・SAH認定スキー指導員受験料:20,000円 認定登録料:14,000円

4. プロジェクトへの支援

- ・実技講習の際のリフト券は、加森観光(株)さまからご提供いただいております。
- ・スキー用品を持っていない留学生には、(株)スポーツピアさまからレンタルのご協力をいただいております。
- ・このプロジェクトに、(公財)太陽財団さまからご支援をいただいております。
- ・講習料は、NPO 法人北海道スキー海外普及振興協会が負担しております。

5. 留学生からの情報発信

- ・留学生は、SNS (Facebook, LINE, Twitter, Weibo 等) を利用し、可能な範囲で北海道のスキーや観光の魅力を情報発信。

6. プロジェクト実施のメリット

(1) 留学生のメリット

- ・SAH認定スキー指導員を取得した留学生に対しては、北海道スキープロモーション協議会に加盟する各スノーリゾートにおいて外国人スキー客へのスキーインストラクターとして収入を得ることができる。ただし、採否及びレッスン内容については、資格を取得した留学生の技能等により各スノーリゾートが判断する。

- ・ 自国から来道したスキー客へのレッスン実施により、人脈を作ることができる。
 - ・ スキーの技術が向上する。
- (2) スノーリゾートのメリット
- ・ 外国人スキー客に対するレッスン受入体制が充実することにより、スキー客の増加に繋がる。
 - ・ 留学中及び帰国後においても、SNS等を活用して情報発信により留学生の自国でのPR効果が期待できる。
- (3) 北海道スキー連盟のメリット
- ・ スキーインストラクター不足を解消することが出来る。
 - ・ 海外からのスキーレッスン需要増加への対応に必要な人材育成に貢献することで、インバウンドの誘客に結びつき、北海道のスノースポーツの活性化に繋がる。
 - ・ 自国に戻った際に北海道で身につけたスキーの技術が広まることにより北海道スキー連盟の指導力をPRすることが出来る。

参考：留学生の状況

■ 主な大学の留学生数

ア) 北海道大学（2013年5月1日現在）

82カ国・地域から1,332名の留学生

内訳：学部89名、大学院990名、その他（研究所等）253名

イ) 札幌大学（2013年5月1日現在）

7カ国・地域から209名の留学生

内訳：学部192名、大学院17名

ウ) 札幌市内その他の大学（2012年5月1日現在）

10の大学に212名の留学生

参考：SAH認定スキー指導員とは

■ 地域のスキー普及・振興のための指導者の養成を図るために創られた資格制度

■ 受験資格

- ・ 地区のスキー連盟に所属し、SAJ（全日本スキー連盟）の登録会員であること
- ・ 級別テスト2級以上の資格を有していること
- ・ 地区のスキー連盟及び登録スキー学校、教育団体、ボランティア団体等から推薦され、地区のスキー連盟が認めた者
- ・ 外国人にあつては、地区のスキー連盟の推薦があれば受験可能だが、日本語が話せない者は面接試験に通訳を同行すること

■ 養成講習の実施内容

- ・ 理論養成講習と実技養成講習

■理論検定

- ・外国人の受験特例：外国人の理論テストは面接とする

■実技検定

- ・実技種目

①制動技術・制動の回転技術

- ・プルークボーゲン、シュテムターン、パラレルターン

②急斜面における運動表現能力

- ・パラレルターン（大回り）、パラレルターン（小回り）

③総合斜面・不整地における運動表現能力

- ・フリースタイル

参考：SAH スキー学校アシスタント認定とは

■スキー学校の適正な運営を助長するために創られた認定制度

■受講資格

- ・スキー学校及び修学旅行や学校授業等のスキー指導のアシスタントとして活動しようとする者。
- ・地区のスキー連盟会長、団体長あるいは登録スキー学校、地区連長及び教育団体、スキークラブ、ボランティア団体等から推薦を受けた者。
- ・地区のスキー連盟に所属し、SAJ（全日本スキー連盟）の登録会員であること
- ・級別テスト2級以上の資格を有していること

■受講講習の実施内容

- ・理論養成講習と実技養成講習

■理論養成講習内容

- ・指導者として必要な知識等の理解を深める。

■実技養成講習内容

- ・初級者～中級者指導を中心としながら、指導者として必要な技術を身につける。

■アシスタント認定後の取り扱い

- ・講習会の修了者には、公益財団法人北海道スキー連盟「認定アシスタント」の資格が付与され、認定者名簿に登録される。（認定者名簿はSAH ホームページに掲載）
- ・認定期間は、受講日の翌日から1年間とし、資格を継続したい者は、毎年度の同講習会を受講し、修了しなければならない。